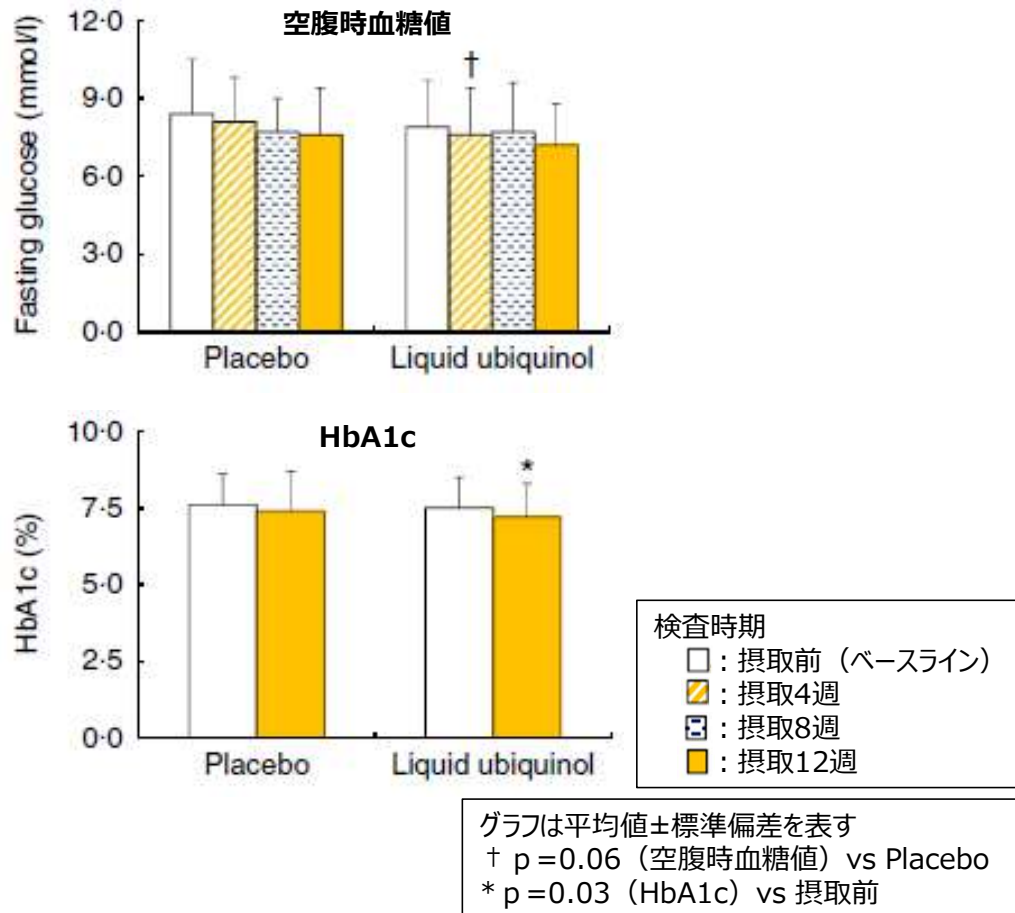


II型糖尿病患者に対する還元型CoQ10による 血糖値管理の改善



【試験方法】

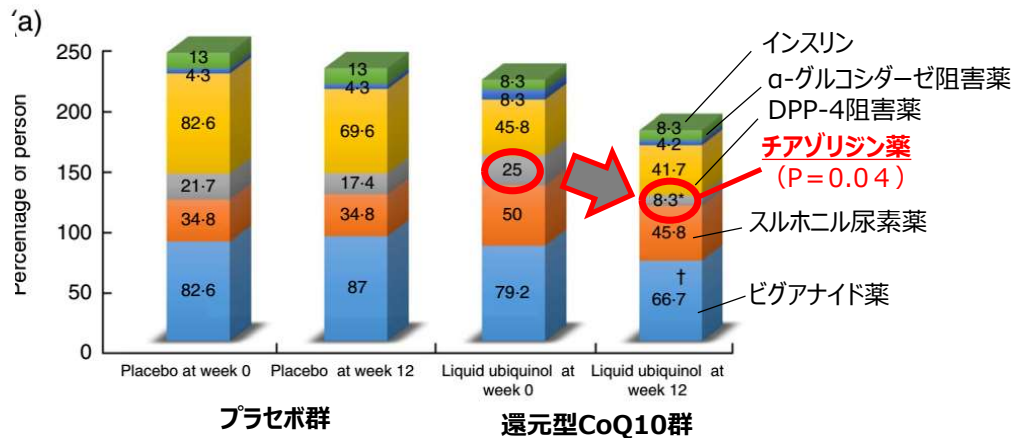
- 試験デザイン: ランダム化二重盲検対照比較
- 被験者: II型糖尿病患者 (投薬治療中) 47名 (台湾)
 ※治療薬: ビグアイド薬、スルホニル尿素薬、チアゾリジン薬、DPP-4 阻害薬、α-グルコシダーゼ阻害薬、インスリン
- 食品: 12週間摂取
 還元型CoQ10(100mg/日、24名) またはプラセボ (23名)
- 評価: 血糖値コントロール、治療薬調査

【結果①】血糖値評価

- 還元型CoQ10群 (ubiquinol) では、プラセボ群 (Placebo) と比較して摂取4週時の空腹時血糖値が低い傾向にあり、12週のHbA1c値が摂取前に比べて有意に低値だった。
- プラセボ群は空腹時血糖値とHbA1c値に試験期間を通して変化がなかった。

(Yen C-H et al, Br J Nutr. 2018; 120:57-63より作成)

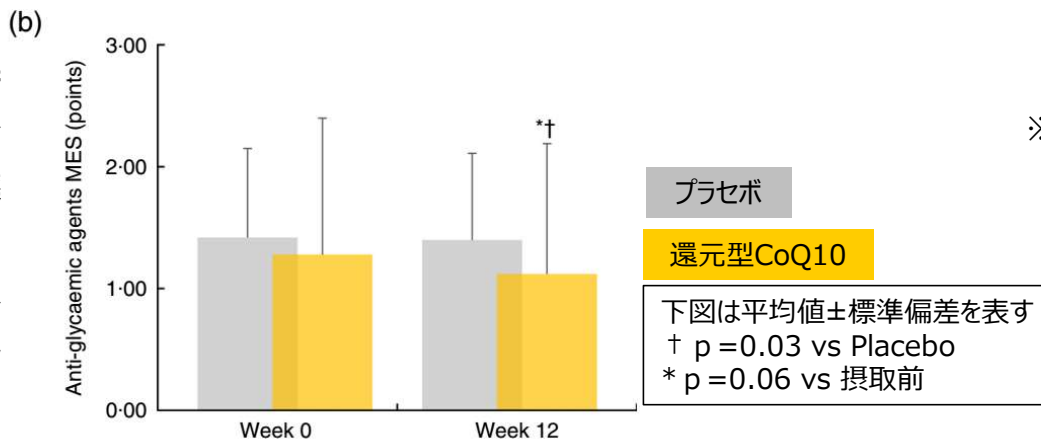
糖尿病薬累積服用率



【結果②】治療薬調査

- 上図：還元型CoQ10と治療薬の併用により、摂取12週におけるチアゾリジン薬の服用率が有意に減少した。
⇒ 治療薬の種類の減少
- 下図：還元型CoQ10と治療薬の併用により、12週後の糖尿病薬有効スコアが減少傾向を示し、さらに、プラセボ群と比べて有意に改善した。
⇒ 治療薬の用量の減少

糖尿病薬有効スコア



※糖尿病薬有効スコア (MES) :

薬剤服用量÷最大処方可用量×薬剤係数 で算出されるスコア

MES が0.5低下すると例えばメトホルミンを1,000mg減量したことに相当する

(Yen C-H et al, Br J Nutr. 2018; 120:57-63より作成)